

薬 第 9 7 2 - 3 号

平成 2 9 年 1 2 月 1 8 日

一般社団法人埼玉県病院薬剤師会会長 様

埼玉県保健医療部長 本多 麻夫

( 公 印 省 略 )

エボロクマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドラインの一部  
改正について（依頼）

保健医療行政の推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
標記について、平成 2 9 年 1 1 月 3 0 日付け薬生薬審発 1 1 3 0 第 1 号で厚生労働省  
医薬・生活衛生局医薬品審査管理課長から別添（写）のとおり通知がありました。

ついては、貴会会員に周知くださいますようお願いいたします。

また、当該通知（写し）については薬務課ホームページに掲載しています。

（薬務課ホームページ）

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0707/yakkyokutoukankeitsuuti.html>

担 当：薬務課 献血・温泉・薬事情報担当

電 話：048-830-3635

F A X：048-830-4806

E-mail：[a3620-08@pref.saitama.lg.jp](mailto:a3620-08@pref.saitama.lg.jp)

薬生薬審発 1215 第 1 号  
平成 29 年 12 月 15 日

各 

都	道	府	県
保	健	所	設
置	市		
特	別	区	

 衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課長  
( 公 印 省 略 )

エボロクマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン  
の一部改正について

経済財政運営と改革の基本方針 2016（平成 28 年 6 月 2 日閣議決定）において、革新的医薬品の使用の最適化推進を図ることが盛り込まれたことを受けて、革新的医薬品を真に必要な患者に提供するために最適使用推進ガイドラインを作成することとしています。

エボロクマブ（遺伝子組換え）製剤を使用する際の留意事項を、「エボロクマブ（遺伝子組換え）製剤及びアリロクマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドラインについて」（平成 29 年 3 月 31 日付け薬生薬審発 0331 第 1 号厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課長通知）により、示してきたところです。

今般、エボロクマブ（遺伝子組換え）製剤であるレパーサ皮下注 420 mg オートミニドザーが承認されたことに伴い、エボロクマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドラインの一部を別紙のとおり改正いたしましたので、貴管内の医療機関及び薬局に対する周知をお願いします。なお、改正後の最適使用推進ガイドラインは、別添参考のとおりです。